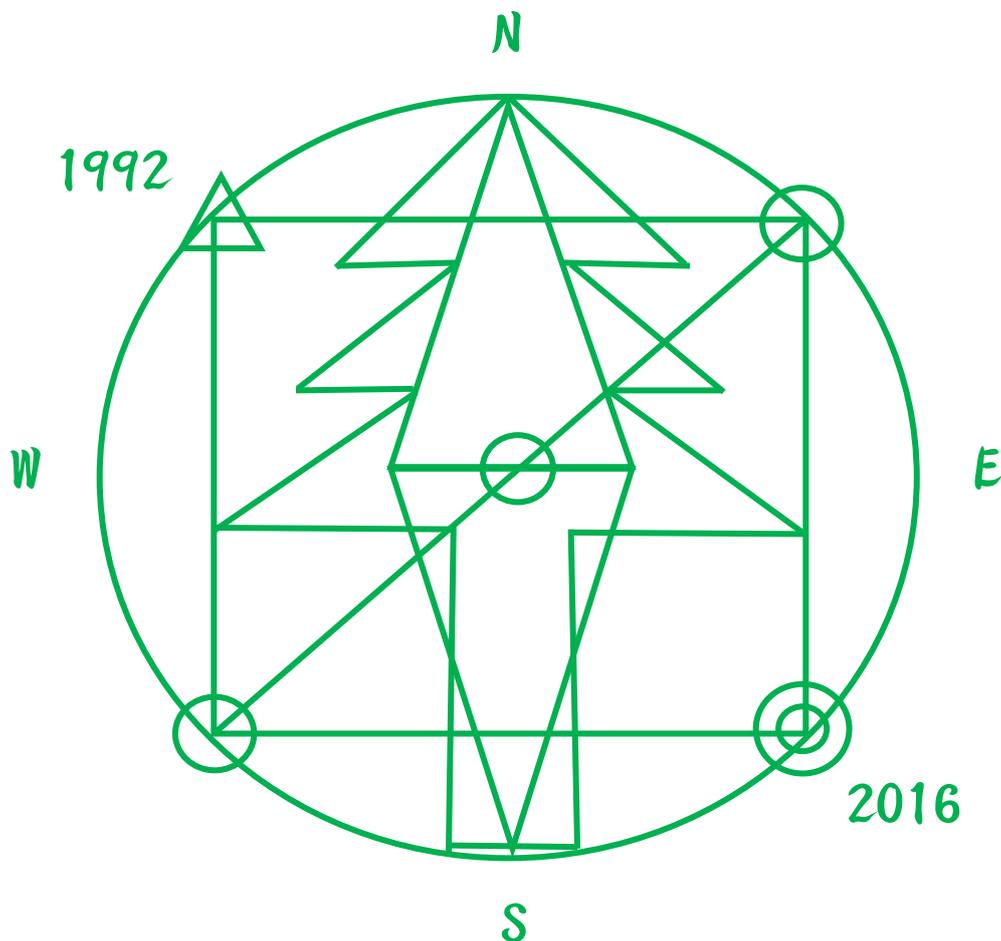

第38回 東大OLK大会

(ナビゲーションチャレンジクラス)

大会報告書

38th OLK Competition

Reflection (for Navic)



目次

Web ページでご覧の場合、各項目をクリックすると該当項目のページにジャンプします。

<u>1.大会概要</u>	p. 2
<u>2.ご挨拶</u>	p. 3
<u>3.成績上位者ルート図</u>	p. 6
<u>4.募金のご報告</u>	p. 7
<u>5.成績</u>	p. 7
<u>6.運営者一覧</u>	p. 8



1. 大会概要

正式名称	第 38 回東京大学オリエンテリングクラブ大会（以下「東大 OLK 大会」と表記します）
開催日	2016 年 6 月 5 日（日）
主催/主管	東京大学オリエンテリングクラブ （東京・一橋・実践女子・津田塾・十文字学園女子・お茶の水女子・立教・武蔵野・ 跡見学園女子 各大学により構成）
後援	東吾妻町 東吾妻町教育委員会 群馬県オリエンテリング協会 日本学生オリエンテリング連盟 関東学生オリエンテリング連盟 上毛新聞社
協賛	O-Support 桔梗館 小山農園 丸源清月堂 浅間酒造 大澤屋 EVERNEW
開催地区	群馬県吾妻郡東吾妻町
会場	東吾妻町立旧太田中学校

2. ご挨拶

◆大会責任者 河野 大和

このたびは、第 38 回東京大学オリエンテーリングクラブ大会へのご参加、誠にありがとうございました。

今大会は、第 14 回東大 OLK 大会のトレイン「吾妻太田」を全面リメイクした「大泉寺溪谷 ～兵の跡～」で行われました。遠方にお住まいの方も多かったでしょうが、例年を上回る 800 名近くの皆様にご参加いただき、運営者一同嬉しい限りです。本当にありがとうございました。

24 年間埋もれさせてしまっていた名トレインを復活させよう、皆様に質の良い大会を提供しようと思い、1 年前から準備を進めてきました。当日は、何かと至らぬ点もあったかと思いますが、皆様に楽しんでいただけたとしたら幸いです。

アンケートに答えていただいた方々、本当にありがとうございます。概ね高評価をいただき、運営者の励みとなりました。また、駐車場の誘導について多数のご指摘をいただいたほか、会場、競技、交通等の面でもご意見をいただきました。皆様のお言葉を真摯に受け止め、来年以降に受け継いでいきたいと考えております。

最後になりましたが、地図調査から大会開催まで多大なご支援をいただいた、東吾妻町教育委員会様、ご後援・ご協賛いただいた皆様、ならびに群馬県東吾妻町の皆様に、心より感謝申し上げます。

来年以降も、東大 OLK、そして東大 OLK 大会をよろしく願いいたします。

◆競技責任者 竹内 元哉

第 38 回東大 OLK 大会にご参加いただき誠にありがとうございました。当日は降雨の予報から一転、非常に良い天気にも恵まれました。大きなトラブル無く大会を終えることができ安堵しております。

第 38 回 OLK 大会では、前回大会に引き続き OMM JAPAN 参加希望者向けのクラスとしてナビゲーションチャレンジクラス (NaviC クラス) を設定させていただきました。

コース設定にあたっては、正しいルートチョイスと線状特徴物を正しく辿る必要のあるレグを組み入れた上で、所によって地形を読む力が必要なレグ、正確なコンパスワークが求められるレグを設定するよう意識いたしました。結果的にトレイン全体を広く使用するタフなコース設定となりましたが、参加者の皆様に楽しんで頂けたのでありましたら、コース設定者として非常に嬉しく思います。

なお、会場や大会アンケートにおきまして、地図配布方法、誘導表示の見やすさ、給水方法等に関して貴重なご指摘をいただきました。至らなかった点につきましては率直にお詫び申し上げます。ご指摘を真摯に受け止め、来年以降の大会をより良いものにするために生かして参りたいと思っております。

今回 NaviC クラスの開催にあたり田島利佳様にご協力をいただき、レース前後に講習会を実施いたしました。オリエンテーリングは非常に精細な情報が記載された地図を使用しマイクロなナビゲーションを行う競技のため、これまでの競技とは少し異なる点もあったかと思いますが、講習会が地図読みやナビゲーションスキルの向上に役立てていましたら幸いです。また、東大 OLK 大会への参加を機に、今後オリエンテーリングの世界へも足を踏み入れていただければ幸いです。運営者一同大変嬉しく思います。

最後になりましたが、大会開催にあたり多大なご協力をいただいた東吾妻町を始めとする地元の皆様、並びに本大会にご参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

今後も東大 OLK 並びに東大 OLK 大会をよろしく願いいたします。

◆大会コントローラ 石澤 俊崇

はじめに、このご挨拶が遅くなってしまったことで、報告書全体の発行にまで影響してしまったこと、お詫び申し上げます。

自分が現役大学生だった頃、関東では東大 OLK、筑波、千葉、早大 OC が毎年大きな規模の大会を行っていて、4 大大会と呼ばれていました。どの大会もいわゆる公認大会とは違う、学生による手作り大会という自由な雰囲気が好きで、必ず参加するようにしていたものです。当時は筑波と千葉が、今の東北大くらいの大所帯だったのですが、いつか OLK 以外の 3 団体は同じような規模を保てなくなり、開催すらできなくなって今日に至っています。

初めて大学大会のコントローラの話をしていただいたのは、大学院を卒業し栃木で働き始めたすぐの頃。隣の茨城県で開催された筑波大学大会で、その後も母校の早大 OC 大会や、開催自体が珍しくなっている千葉大大会のコントローラをやらせていただく機会がありました。東大 OLK 大会はたびたび隣の群馬県で行われているため、栃木に住んでいればいずれ声がかかるだろうと思っていたものの、自分の中で 4 大大会コントローラのリーチがかかってから、今回の話をいただくまでは、意外と長かった気がします。もう学生のみなさんとは年齢も離れているので、機会がないのではとも思っていましたから、本当に嬉しかったです。

振り返ってみると、喜んで引き受けた割には大して役に立てなかったことは申し訳なく思っています。地図印刷を外注に出したことも、却ってトラブルの元になってしまいましたし。スタート地点が変更となるなど、いくつかの困難はありましたが、それらは大会運営幹部のみなさんが中心となって解決されていきました。自分はコースの確認をさせてもらって、少しアドバイスをさせてもらった程度でした。まあ、大会当日がいい天気になったという効能があったのだとしたら、十分に期待された役割を果たせたのかもしれない。

今回の東大 OLK 大会は自分が知る限りで最高水準のテレイン・地図・コースを提供できた大学大会だったように思います。交通の便が悪いところで行われたということを考え併せても、参加者の満足度は高かったことでしょう。そのような大会に関わることができて、本当に嬉しかったです。きっと反省点もあることと思いますが、来年以降を担う後輩たちも、今年のような大会を目指し、さらに越えていくような意気込みで準備されることを期待します。次は一参加者として楽しみにしています。

今までぼんやりとしかわかっていませんでしたが、東大 OLK 大会は運営の中心となる 3 年生の殆どはオリエンテーリングのキャリアが 2 年ちょっとしかありません。わたしの様に 20 年以上もこの世界にいる人間から見ると、そのようなキャリアでこれほどの規模、質の大会を成功させたことは奇跡的とさえ思えます。OLK のみなさんにとっては先輩方から受け継がれてきた当たり前のサイクルなのでしょうが、本当にすばらしいことです。当然、今後も世代によっては力不足だったりということもあるのですが、そんな時こそもっと大会コントローラを活用して下さい。みなさんには足りない、キャリアだけは豊富な人間がこの世界には沢山いますし、多くの人にとって、大会コントローラを依頼されることは誇らしいことです。きっと快く引き受けてくれることでしょう。今回はそのような関係とまではいきませんでしたが、若いみなさんと、キャリアのあるコントローラがお互いを補うことができれば、もっと円滑に、質の高い OLK 大会を維持できるのではないかと思います。

国内最大規模の大会であるインカレをはじめ、これまでに多くの大会運営に関わってきましたが、単純な運営者の人数では OLK 大会が最大かもしれません。もちろん、全員大会運営のキャリアは浅いわけですが、この人数を生かして、もっと質の高い大会を目指してほしいと思います。質、とは競技に関わる部分だけではありません。特に大学大会の場合、前例にとらわれがちで、毎年同じことを着実にこなすという気持ちが強いと思います。それは、当然のことなのですが、その年の運営人数に応じた参加者へのサービスについても考えることができれば、大会はよりよいものとなります。競技に関することには口出しができないとしても、サービスについてのアイデアは、多くのみなさんから出すことができるはずで、日本一の人数で開催する、日本一参加して楽しい大会を目指してもらえたら嬉しいです。きっとそのことは、日本の大会全体を引き上げることにつながると思います。すでにその地位にあるよ

うにも思いますが、日本のオリエンテーリング大会をリードするような存在になってほしいと願っています。

すでに選手として競技力を向上させることには無理のある年齢となっている自分がすべきことは、日本でもっと質の高いオリエンテーリング大会を開くこと、またはその手伝いをする事だ、と思っています。ですから、今回のようにすばらしい大会に関わることができたのは最大の喜びです。自分がオリエンテーリングを始めた 20 年以上も前から、日本で一番質が高い大会はインカレであって、社会人が目標とすべき全日本大会は開催地によっていいときもあれば、デタラメなときもある状態です。多くの人が大学生になって出会うオリエンテーリングは、その本当の面白さに気づくまで何年もかかるものだと思っています。だから、大学での 4 年間で終わっても楽しみ続けてほしいのですが、その目標たり得る、インカレに代わるような大会が存在していないことが大きな課題で、過去何年も解決できていません。

今年のような質の OLK 大会が毎年 6 月にある、ということがある程度保証されていれば、これを目標に頑張ってトレーニングに励む選手が OLK 出身者でなくてもいるはずで、自分もその一人になるかもしれません。無茶なことを言うようですが、OLK 大会はインカレのないオリエンティアの、毎年目標とする大会の一つであってほしいのです。自分も近年は秋インカレに大きく関わっていますが、インカレ以外でも所属するトータスなどで楽しい大会（ナイトリレー、よろしくお願いします！）を開くことで、貢献し続けたいと思います。

最後になりますが、今回の大会を中心になって運営された役員のみなさんを始め、開催に尽力されたすべてのみなさん、お疲れさまでした。もう二度と同じメンバーで一つの大会を作り上げることはないわけですが、来年以降の OLK 大会や、卒業後のインカレなどで、今回の経験を生かして楽しい大会を開いてもらえれば、これ以上の喜びはありません。いつかまた、同じ大会を運営する機会があることを楽しみにしています。一緒に日本のオリエンテーリング大会を盛り上げて行きましょう。



4. 募金のご報告

会場の受付前に、JWOC、WUOC、AsOC 代表選手へのカンパ用募金箱を設置いたしました。皆様の温かいご支援を賜り、総額 34,371 円が集まりました。東大 OLK から代表選出された 7 名の遠征費に全額を充てさせていただきました。心より厚く御礼申し上げます。

5. 成績

NaviC 9.4km ↑560m			
順位	氏名	記録	所属
参	福西佑紀	1:24:41	TEAM 阿闍梨
参	村越真	1:26:05	静岡 OLC
1	千保翼	1:40:00	前橋トレラン部
2	山本寛人	1:47:15	
3	八幡尚	1:56:52	雀狼会
4	米田英昭	2:06:56	
5	山田穰太郎	2:14:16	
6	久保和彦	2:24:17	加波一族
7	高橋洋一	2:24:24	Club 阿闍梨
8	久保亜樹子	2:37:42	
9	松元恭子	2:44:11	Club 阿闍梨
10	坂倉豊	2:48:19	Club 阿闍梨
11	笹崎良夫	2:49:57	
12	登不二雄	2:53:46	無所属新人
13	鈴木功一	2:54:10	
14	岩月なつ美	2:56:59	
15	伊藤正美	3:00:04	Club 阿闍梨
16	柏樹芳雄	3:03:12	
17	光瀬美樹	3:23:45	C L U B 阿闍梨
	田村晃子	3:30:59	CLUB 阿闍梨
	池田将	3:32:17	
	細谷かこ		
	東裕明	3:36:46	SMB
	大竹政晴	DISQ	ももじゅん♪
	中澤順子		
	増子伸江	DISQ	QUEST
	八木景子	DISQ	茨城ジョギーズ
	佐藤文	DISQ	
	増子秀一	DISQ	QUEST
	松浦美樹	DISQ	
	松本めぐみ	DISQ	北摂 ADV 部
	服部早苗	DISQ	Club 阿闍梨
	小湊義彰	DISQ	Club 阿闍梨
	中島瑞恵	DISQ	Club 阿闍梨
	守永朋子	DISQ	club 阿闍梨

6. 運営者一覧

大会責任者	河野 大和	作図補佐	桑 潤哉
運営責任者	田中 翔大	エントリー責任者	加藤 岬
競技責任者/コース設定者	竹内 元哉	Web 責任者/会計責任者	植田 翔大
渉外責任者	増田 健也	広報責任者	瀧澤 修人
作図責任者	瀬川 出	資材責任者	大東 祐汰
調査責任者	平山 遼太	大会Tシャツ責任者	佐藤 理佳
渉外補佐	藤谷 彩夏		

本部付きドライバー 殿垣 佳治、村井 智也

大会コントローラ 石澤 俊崇

会場パート

◎小林 晴美、●中島 緑里、岡野 仁美、木島 佑輔、小村 彩葵、鈴木 咲帆、齋藤 恵梨、平山 遼太、藤谷 彩夏、岡 遼汰郎、立花 和祈、濱宇津 佑亮、増田 風見花、飯田 涼芳、近藤 俊太郎、武内 健一郎

スタートパート

◎松尾 怜治、●八木 香織、大山 祐未、桑原 大樹、田中 圭、増田 七彩、加藤 岬、瀧澤 修人、出原 優一、河本 将毅、西原 克哉、村山 友梨、上野 夏生、小林 美咲、小林 結菜、塚田 恵理

フィニッシュパート

◎斉田 圭吾、●岡本 洸彰、栗本 開、満井 唯奈、齋藤 星南、清水 直、安間 海斗、小森 優真、高坂 州、ランゲン パトリシア

計センパート

◎中野 喬博、●小林 日向、大西 正倫、宮本 樹、種市 雅也、山川 登

競技救護パート

◎佐藤 あおい、●横堀 聖人、井倉 幹大、猪俣 祐貴、橋本 知明、山口 雅裕、山口 雄太、植田 翔大、大東 祐汰、瀬川 出、平野 光、大田 将司、荻原 沙季、木村 るび子、佐藤 遼平、田口 悠、谷口 文弥、西田 成佑、新田見 優輝、的場 友昭、安藤 実大、大橋 陽樹、後藤 幸大、後藤 将夫、藤嶋 優梨子、正木 剛志

交通パート

◎刀根 大輔、●小池 一輝、秦 大樹、前中 脩人、佐藤 理佳、井島 知哉、豊田 伸平、佐藤 公洋、鹿野 梨佳子、比企野 純一、松田 那由多

体験会パート

◎金子 奈央、●加藤 めぐみ、石神 愛海、中丸 祝子、和田 郁佳、岩田 真依、桑 潤哉、阿曾 綾佳、兵藤 瑞穂、藤島 志帆、三上 拓真、石田 晴輝、北川 みのり、高見澤 翔一、平井 宏佑、山本 優海

大会バスパート

◎三科 圭史、●國分 英

◎ : パートチーフ ● : サブパートチーフ

(第 38 回東大 OLK 大会 ナビゲーションチャレンジクラス 大会報告書 終わり)